

2024年度 大学入試センター共通テスト（日本史B本試験）解説

第1問 総合。テーマは印刷。会話文や探求的演出はなし。

問1 下線部②は恵美押勝の乱で、年表中の「養老律令の施行」が押勝（藤原仲麻呂）の政策であり、乱の結果滅亡して道鏡政権になったのだから **c** が正解。

問2 I（三浦の乱）は室町後期の15世紀前半、II（秀吉の朝鮮出兵）は織豊政権で15世紀末、III（応永の外寇）は室町時代前期14世紀。よってIII→I→II。

▼ 問3 X：史料1に「座人の外商売せしむるにおいては」なので「座の特権を強要しようとする」ではなく、むしろ逆に座の特権を犯す商人を問題視しており、誤文。Y：史料2に「前々の如く諸役あるべからず（課税するべきではない）」とあるから、税特権を維持すると言っており、誤文。戦国大名や信長は楽市楽座だと思いきまず史料を見なければならない。

問4 ア：リーフデ号の漂着が関ヶ原と同年であり、16世紀にオランダは日本に来ていない。イ：『吾妻鏡』は鎌倉幕府の歴史書。幕府の滅亡とその後の内乱を扱った軍記物は『太平記』。それにしても、家康の愛読書が『吾妻鏡』というエピソードは、前々年の大河ドラマを意識したのか？

△ 問5 X：緒方洪庵は大坂の適塾。Y：馬琴は読本作家。

問6 a：「土族湖口のため」だから土族も加わっている。b：「印本はなはだ少なし。ただ『群書類従』ありて」だから『群書類従』は良いものはないということ。c：円本・文庫本は大正昭和初期文化。

第2問 古代の食物がテーマの問題。会話文で構成。

問1 昨年に続いて今年も考古。写真2の饗じょうは写真からわかるので、写真3は飰じきになる。ただし、写真3が、底に穴があることで蒸す道具だと判断できるかどうか。飰は教科書に載らなくなったので（プリントには入れているが）知識としては難しい。誤りが見つからないなら正文と考えるしかない問題。

問2 a：表中すべて3斗であり令（史料1）と合致。b：口分田の支給対象は男女であるが調は男のみが負担する（表中の6人の性別は名前のみだから判断できないが）。c：表中の国は確かにすべて海に接している。d：尾張区には都より東。

問3 I（高松塚古墳壁画）は白鳳文化、II（寝殿造や女房装束など）は平安中期文化、III（鳥毛立女屏風）は天平文化。よってI→III→II。年代暗記が使えない時代順。

▼ 問4 ①最初のカズの発言に「蘇内・志摩国…は蘇の納入が規定されていない」とあるが、写真4の木簡は近江国なので合致する（近江は畿内ではない）。②史料2にあるのは西海道（九州）であり、これも合致する。③カズの発言によれば蘇は11月が貢納期限だが、史料2は正月20日の記事なので遅れている。よってこれが誤文。④史料2では蘇は受け取っていない。だが、注5にあるように、本来は甘栗と蘇が下賜されたのであり、だからこそ「蘇なし」と問題しているのがあって、「蘇の授受を通じた天皇と貴族の結びつきが読み取れる」は正しい。昨年の撰銭問題と似た発想の問題。

問5 空欄3つに文章が2つずつなので 8択という新しい形式。ア：木簡は基本的に廃棄物であるから内容的には断片的だ(b)が、改変する意味もない(a)。イ：『日本三代実録』は醍醐朝（10世紀前半）にできた最後の六国史であるが、受領の強欲(d)はそれより後の情勢、応天門の変(c)は清和朝でそれより前の事件である。ウ：『枕草子』の時代、宋とは国交がないので(f)。

第3問 中世社会経済。ここでも会話文。会話文による探求的学習風。

問1 これも年代暗記が使えない時代順。Ⅰ(西面の武士)は鎌倉前期、Ⅱ(段銭)は室町時代、Ⅲ(悪党の取り締まり)は鎌倉後期。よって、Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ。

- ▼ 問2 史料1では永仁の徳政令の有名な箇所であり、読まなくても内容を覚えていてbが正しいと判断できる人もいだろう。ところが、史料2で名主・百姓たちは、徳政令の「非御家人ならびに凡下の輩買得」を「非御家人ならびに凡下の輩の質券売買」と勝手に読み替えている(c)。ここに気づけるかどうか。また、そもそも永仁の徳政令は土地を売却した御家人を保護するためのものであり、御家人以外を保護する必要はないということを理解できているかどうか。教科書に書かれている通説、大きな流れは正しいが、個別に見れば世の中そうそう教科書通りにはならない。そういう「生きた歴史」を史料から読み取らせたいというのが、近年のセンター共通テスト日本史のスタンスのようだ。

△ 問3 X：一条兼良は『樵談治要』で知られる。Y：宗祇は『新撰菟玖波集』。

問4 史料3は「朝倉孝景条々」、史料4は「今川仮名目録」、史料5は「信玄家法」の、多くの教科書にのっている重要史料であるが、問われているのは名称ではなく内容と意義。

問5 「実力を行使して問題を解決しようとする実例」(典型的な中世だけ)という意味を理解する必要がある。正解は④で、他の村の用水という権限外のことを、権力者の支持や規則を用いることもなく、破壊(暴力)という行動で解決しようとしている。①娘への所領の一期分扱いは親としての権限の範囲である。②裁定を幕府に求めている。③惣無事は秀吉による戦闘禁止。

第4問 近世の輸出・輸入に関する問題。会話文を使っている。

問1 ア：木綿といえば朝鮮貿易。イ：たとえば庸は麻布。ウ：南蛮貿易は銀。金は平安・鎌倉時代。

- ▼ 問2 江戸幕府の鎖国政策は、家康生前は禁教(Ⅲ)にとどまり、貿易縮小開始(Ⅰ)は家康死後。Ⅱ(島原の乱)は最終段階=秀忠没後である。Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ。

- ▼ 問3 X：18世紀(つまり田沼)の輸出拡大策ではあるが、俵物輸出の推奨は銀・銅の流出防止のための代替という面が大きく、17世紀末に中国船の来航は減少していないので誤文。正徳の治の海舶互市新例で上限を設定しているくらいである。Y：俵物の中身は干し鮑・いりこ・フカヒレであった。

問4 「史料1が書かれた頃」とは「(中略)今、」以降の内容であることに注意。①異国との貿易については書かれていない。②取引については書かれていない。③「薩摩より琉球産を渡す」であって「薩摩より琉球へ」ではない。④最後の部分は黒糖(黒砂糖)の産地についての説明である。

問5 a b：史料2の後半に、「昔は」と比較して「最近は…蚕飼などはやめて…」とあり、この文書が書かれた1835年=19世紀には専門化が進んだことがわかる。c：史料後半に「百姓」「農業の片手間」とあることから、農民が有力化したことが読み取れる。d：「幕府領では幕政改革により定免法が新たに定免法による年貢増徴策が採用」とは享保の改革を指す。史料前半に「約50年前から織物業が繁盛し」とあるが、1835-50=1785年で、享保改革より半世紀後の話である。

第5問 「日本史探究部」による研究発表という設定。確かに部活動の方が向いている。

- 問1 ア：兵庫開港は朝廷の抵抗で遅れた。イ：一見、官営工場の工女(士族出身が多かった)でもいい気もするが、イのすぐ前に「洋服の着始めは旧幕府仏蘭西式歩兵の制服」と書いてある。
- 問2 X：艦船や武器の比率は増えており、全体の輸入額も増えている。Y：2つのグラフの間に改税約書があり、輸入関税が引き下げられた。関税が下がれば貿易額は伸びる。
- 問3 ①②当初の国立銀行は兌換紙幣発行が義務であった。②史料から国立銀行は三井組・小野組が発起を要請されたことが分かる。④史料後半に「この公債証書をもって国立銀行設立を申請する者夥しく」とある通り。ただし「明治九年」なので、これは条例改正後の兌換義務のない国立銀行。
- 問4 a：ご存知フェノロサ・岡倉天心ペア。b：政教社は三宅雪嶺。加藤弘之はむしろ(西洋文明を啓蒙した)明六社の一員。c：民法典論争となったボアソナード民法はフランス系。d：旧暦を使って農作業や伝統行事が行われたから。もっとも現在でも旧暦は一部で残っている。

第6問 探求発表の設定。テーマは二度の世界大戦後の世界と日本。次年度からの歴史総合の意義を意識(宣伝)しているのだろう。ただし、当然だが世界史の知識は求められていない。

- 問1 史料1は日英同盟、史料2は国際連盟規約(ヴェルサイユ条約の一部)、史料3はワシントン海軍軍縮条約(「主力艦」がキーワード)。よって、Xは史料3、Yは史料1。国名も出てこない史料1の特定は難しいかもしれないが、Y(ワシントン会議で破棄された)の条件から逆に推測したい。
- 問2 入試センター日本史が大好きな「パリ不戦条約は実は積極外交の田中義一内閣」。①第一次加藤高明内閣。②第二次山本権兵衛。③寺内正毅内閣。
- 問3 X：史料4に「満鉄以外の鉄道保護は…」とあるので誤文。Y：史料4に「つとめて国際法ないし国際条約抵触を避け」とあるので正文。関東軍は暴走するという先入観を突いた出題。
- 問4 a：ドイツやイタリアが既存の国際秩序に批判的かどうかは日本史ではない気もする(歴史総合的とも言える)が、bが誤文なので消去法が使える。b：近衛声明の「国民政府を対手とせず」と正反対で誤文と分かる。c：正文。d：日米通商航海条約はアメリカ側が破棄したので誤文。
- 問5 ①②④は正文。③「抑圧的な風潮が継続」「明るくのびやかな歌謡曲」を規制など実際と正反対だが、意外と学習の盲点かもしれない。朝ドラ「ブギウギ」を意識している…かも。
- 問6 Iは沖縄返還(佐藤内閣)、IIはMSA協定(吉田内閣)、IIIは「事前協議」とあるので新安保(岸内閣)。よってII→III→I。
- 問7 ア：インドは不参加。イ：この時点(田中内閣)では国交回復のみの共同声明。

例年通り、時間を要する史料思考問題が多い。時期判断を求められるのも例年通り。平易な問題が少なく、単純用語問題は文化史。一方で、XY正誤は5問、時代順が5問と(6問の年もあるので)少なめだったり、戦後を伝統的に田中角栄で終えるなど、難度調整も考えている節もあるが…。

△(平易)が2問、▼(やや難)が5問なので-5ポイント。平均58点と予想します。